

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100120
法人名	社会福祉法人 ともの家
事業所名	溝辺ともの家
所在地	松山市溝辺町甲 1 1 9 - 1
自己評価作成日	平成24年5月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年7月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お年寄りの生活を職員が支える。自分達が生活しているという感覚を持って頂きたい。「どうしたいですか」と聞くことを徹底しています。食事の盛り付け、調理、片付けもお年寄りが中心となっていて行っています。職員がまとめて洗っていた洗濯物も「自分の物は自分で洗いたい」と2名の方はされています。行動することで意欲が向上し、発達することを学ばせて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●利用者で職員で一泊旅行に出かけることを続けておられ、中山町の花の森ホテルや東予国民休暇村等に出かけておられる。利用者は食事を楽しみにされており、めずらしいお料理等も楽しまれている。散歩途中にある野菜の直売所で野菜を買ったり、利用者の希望でバックや洋服の買い物等にも出かけておられる。「ともの家たより」では、外出に同行していただけるボランティアを募っておられる。
●利用者が食事の盛り付けをされる際には、職員が、「～さんが好きなお肉ですね」等と話しかけ、食事内容の話題で会話されている。利用者からは「何個ずつ入れる？」等の問いかけもあり、職員もそばで一緒にいながら支援されている。土曜日は、事業所で食事を手作りされており、利用者は職員と車でスーパーに出かけて、食材選び等もされている。食事はできるだけ30分前くらいから作り始め、食事の出来るにおいや、温かいものは温かいうちに食べることを大切に支援されている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 溝辺ともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

力石まさみ

評価完了日

平成24年5月20日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			利用者サービスの基本方針に「家族、友人、地域との交流を大切にし、社会性の維持、回復に努める」を掲げ、常にホームを開放し、入居者も地域に出掛けるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(外部評価)	
			事業所では、法人の理念や方針に沿って、今年度、「普通の暮らしを実現する」「役割の発揮で笑顔のある生活を実現する」「家族とともに介護する」ことを重点目標に掲げておられ、運営推進会議等でも発表して、取り組みをすすめておられる。事業所では、「脳トレによる言語能力の回復」のテーマで、日々の音読やぬり絵等の取り組みについて、研究したことや成果を、法人の「中堅職員が行った実践研究発表会」にて発表された。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			町内のゴミ収集場の清掃、公園の清掃にも参加している。道であった際には挨拶を心がけ、バザーの案内をした。年末には餅つきを行い、近所に配り非常時の協力をお願いした。	
			(外部評価)	
			以前、近所の方達に事業所の認知度等のアンケートを実施されており、その後、アンケート協力のお礼と、結果報告に近所を回られた。隣りのマーケットはテラスから行けるようになっていて、よく買い物に行かれている。近所の高齢者が買い物に来られた際、事業所にも立ち寄られ、介護の相談をされたこともあった。毎週木曜日には、お花の先生が来られて、玄関にお花を生けてくださっており、利用者の中には先生とお話することを楽しみにされている方もいる。	事業所には回覧板も回ってきており、地域行事等の情報も得られている。外出がお好きな利用者もおられ、今後さらに、利用者が地域の中に出かけていき、地域の方達と一緒に過ごしたり、楽しめるような機会作りにも取り組んでいかれてほしい。
			(自己評価)	
			地域の方から質問があれば、その都度答えるようにしている。介護保険制度のパンフレットを備えており、必要な方には渡し、説明している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている	(自己評価)	
			二ヶ月に一度開催し、行事や取り組みの報告を行い、話し 合いの場を持っている。故郷訪問の報告や呼び掛けを粘り 強く行った結果、6名の利用者のうち3名の利用者の故郷訪 問が実現した。	
			(外部評価)	
			会議時には、事業所が力を入れて取り組んでおられる「故郷 訪問」の様子DVDをみていただきながら報告されており、 参加された他のご家族も「故郷訪問」に取り組むきっかけに もなられたようだ。年1回程度、法人全体で会議を開催され ており、参加者に「職員研修」の様子を見ていただいたり、一 緒に勉強されている。	地域性等のこともあって、会議に地域の方の参加は少ない 現状である。地域包括支援センターの担当者とも相談して、 地区の民生委員の方を誘っていただく等、協力いただきな がら、地域からの会議参加者も増やしていかれてほしい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	(自己評価)	
			運営推進会議に出席して頂いており、利用者の生活の様 子、家族との意見交換もして頂いている。	
			(外部評価)	
			運営推進会議に出席いただき、感染症についての注意事 項を話していただいたり、会議に「民生委員や町内会長等の 参加が増えるといいですね」という意見もいただいた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			職員は身体拘束が虐待であるという認識を持っている。玄関 や居室を施錠することなく、拘束の無いケアに取り組んでい る。	
			(外部評価)	
			テラスで、洗濯ものを干したり、お茶を楽しまれたり、音読をさ れる等して過ごされている。又、デッキから出て、隣のマー ケットに買い物に行かれることもある。職員が腕を支えて歩い ておられた利用者の方は、他利用者が押し車を使用してい るのを見て、ご自分も「使いたい」と希望され、現在、押し車 を押して、ご自分の意思や力で行動されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			ともの家全体で行っている研修会で高齢者の虐待防止法について学ぶことで職員一人一人が虐待を見過ごさないよう心にとめて職務に当たっている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			毎月一度開かれる研修会でこれらについての知識を深めている。また、それらを活用できるよう日々努めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			契約の締結の際は十分な説明を行い、解約または改定等の際は利用者や家族と蜜にコミュニケーションを図り、理解、納得して頂けるよう努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			利用者の方や家族がいつでも意見、不満、苦情を表すことのできる柔軟な姿勢をとり、意見が出たときには直ちに話し合いの場を持ち、運営に反映させるようにしている。	
			(外部評価)	
			「利用契約時の説明」や「ともの家たより」「家族会」「運営推進会議」等を通じて、ご家族は、法人の理念や方針、事業所の重点目標等についての具体的な取り組みを知る機会も多く、理解しながら事業所を利用されている。入居時より、じょじょに心身の状態が「よくなっている」と成果を感じているご家族も複数おられる。状態がよくなることで、会話が多くなり、ご家族が遠方から会いに来てくださる回数が増えたというような事例もある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月の職員会議で職員の意見や提案を聞き、反映している。毎月の管理者会議、主任会議、各種委員会でも必要に応じ、職員の声を汲み上げている。	
			(外部評価)	
			法人全体で人材育成に力を入れ取り組んでおられ、定期的な職員研修や、研究発表の機会が作られている。利用者と職員で行く一泊旅行時には、ほぼすべての職員が参加され、一緒に温泉に入ったり、食事したり、一緒に泊まることでチームワークも深まるようだ。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況を把握しており、理事長は管理者、職委員にねぎらいの言葉を掛けている。努力した職員は年度末の全体職員会議で褒められた。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			毎月職員研修があり、学んでいる。外部の研修も希望者は優先し、参加できる体制をとっている。資格取得のための勉強会もある。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			全国組織のシンポジウムに参加したり、他施設を訪問したり、質の向上のため取り組みをしている。近隣グループホームのネットワークがあり、年に2回意見交換会をもっている。認知症サポーターによる人形劇を包括支援センターを中心にいろいろな事業所と共に上演に協力している。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者に寄り添い、共感することで本人の思いを汲み取れるよう努めている。不安等、話しを聞く時間の確保に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 相談等あったときにはきちんと面談を行い、傾聴に努め、その都度改善を行っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) サービスを開始する段階で家族や本人が必要としているものをあらゆる角度から判断し、適切な支援が受けられるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員は介護行為の都度「ありがとうございます」と感謝の念を伝えている。利用者を主体に考え、出来ることは本人にして頂き、職員はあくまでもそのサポートを行うようにしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族をケアパートナーと位置づけ、家族と共に支える介護を行っている。行事への参加、衣替え、外出、宿泊等を通して、利用者との絆を大切にした関係を築いて頂いている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の協力を得ての墓参り、故郷訪問、家族の家への訪問、宿泊等呼び掛け、実施している。 (外部評価) 写経する利用者は、回数を重ねるごとにきれいに書けるようになり、手本をみながら書くようになられた。50枚書けたら石手寺に納経することを計画されていた。県外にあるお墓にお参りに出かけることも支援されており、ご家族と出かけられたり、身寄りのない利用者やご家族の都合によっては、法人代表者が運転役を務められ支援されている。日々、音読の時間を設けておられ、以前はむかし話等を読んでおられたが、利用者の年齢等にも配慮して、「人生」について書かれた本を読む等されている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 家事やレクリエーション、ティータイム、食事作り等を通じ、利用者同士が協力し、支え合うことが出来るよう支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 年に4回発行される「ともの家だより」の送付やバザー・ロビー展の案内等を通して関係が断ち切ることがないよう努めている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ケアプラン作成時に本人や家族に暮らし方の希望を聞き、その考えをケアに取り入れ活かしている。 (外部評価) 普段はあまり話されない利用者も、居室に職員が訪れた際やトイレで介助する際等には、以前のことやご家族への思い等を話して下さるようで、職員は、利用者のお話に耳を傾けておられる。利用者が人目を気にせずに過ごすことができるよう「ひとりの時間」作りにも取り組んでおられ、職員は、そっと利用者の行動の様子を観察されて、「一人で行っていること」「できること」「行いたいこと」等を知ること努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去の記録を見直すことで情報を取り入れ、また本人との会話を通し確認したり、分からないことは家族に聞き把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活の様子を記録に残し、記録の読み返し、職員同士の報告を徹底している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人、家族等必要な方々と話し合うことでより良いケアが実現するよう試みている。それぞれの意見を踏まえた上で介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			ご自分の衣類をご自身で洗濯してテラスに干す等、事業所で利用者が主体的に生活できるように計画を立てておられる。又、事業所で看取りを支援する際には、週に1回、介護計画を見直して、現状に即した計画作成に努められ、ご家族に面会をお願いされたり、利用者の痛みや苦痛を和らげることができるようなケアに取り組んでおられる。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			個人記録にケアの実践状況や様子を記録し、気づきも記入している。また、職員同士が情報を共有している。	
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人および家族の状況に応じ通院や外出に付き添い、その他のニーズにも対応し、柔軟な支援を行っていて、正月には自宅に泊まった方もいた。また一泊旅行にも行った。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			近くのスーパーへ買い物、美容院の利用、近隣の散歩を日常的に支援している。バザーロビー展を開催し、地域の方と交流している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望に合わせ、かかりつけ医の受診・往診を行って頂いている。協力医の往診が3週間に1度ある。24時間対応の訪問診療を受けられる体制にしている方もいる。	
			(外部評価) 事業所での看取り支援を希望される利用者は、往診して下さる協力医に診てもらえるよう変更されている。往診して下さる医療機関からは、人が亡くなるまでの過程が分かる表をいただいております。職員はその表をみながら、現在の利用者の状態の段階を知ったり、確認し合ったりして支援に取り組まれている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師に必要な応じて相談し、助言指導をもらっている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院の時には必ず医療機関と情報交換し、相談している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 看取りに関しては家族や関係者との話し合いの上で方針を決めている。スタッフ間でも話し合うようにしている。看取りの資料を備えている。	
			(外部評価) 6月には看取りを支援した事例があり、職員は、「利用者を一人にしない」ことに取り組み、毎日清拭をして体の清潔に努められた。又、ご本人が「食べることが好きだった」こともあり、ゼリー等を口にできるように支援された。他の利用者も、居室にいられて声をかけて差し上げたり、亡くなった後は、お見送りもされた。医師から余命が宣言された後は、職員一人で夜勤を行うことに心細さもあつたが、職員から「私も泊まります」という声上がり、職員同士協力し合って夜間2名で対応され、職員の安心にもつながった。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時の対応についてのマニュアルを作成し、すぐに見られる場所に貼っている。また、看護師からの研修会等で応急手当でや対応について指導を受けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年1回消防署の指導のもと避難訓練を行っている。利用者も参加することでより充実した訓練になっている。 (外部評価) 地域性のこともあって、災害時の地域との協力体制作りに難しさもあるようだが、事業所では年末の餅つき時に、近所にもお餅を配りして、いざという時に協力いただけるようお願いされた。事業所では、このような取り組みを重ねて、「地域との協力体制作りにつなげたい」と考えておられる。事業所では、玄米を備蓄されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 「尊厳ある生活を保障する」事を運営理念にしており、接遇態度においても個人の人格を尊重したものにしている。 (外部評価) 利用者に対して「敬語」で「依頼形」の言葉遣いに気を付けておられ、利用者が決めて行動できるような支援に取り組まれている。自立支援や利用者主体の生活を支援するという観点から、事業所では食事を通して、利用者が役割を持って生活できるような取り組みをすすめておられる。現在は、テーブルで利用は座ったまま食事の盛り付けを行ったり、ご飯をよそう等されており、「するのが当たり前」と言われる利用者もあるようだ。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者の希望を尊重し、自己決定の場を日常的に持つことで本人の思いを大切にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人の体調に合わせ生活して頂いている。本人の意思 を大切にした支援を行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 本人の希望の衣類を選択して頂き、毎日、髪型、身だしなみ に気を使っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好みの食べ物を尋ね、それを献立に取り入れ、一緒に買い 物に行ったり、調理して頂いたりしている。また盛り付けや片 付け等も行っている。 (外部評価) 利用者が食事の盛り付けをされる際には、職員が、「～さん が好きなお肉ですね」等と話しかけ、食事内容の話題で 会話されている。利用者からは「何個ずつ入れる？」等の問 いかけもあり、職員もそばで一緒に行いながら支援されてい る。「食事は静かに食べる」習慣の方が多く、音楽を流 して、職員も一緒に同じものを食べておられた。土曜日は、 事業所で食事を手作りされており、利用者は職員と車でスー パーに出かけて、食材選び等もされている。食事はできるだ け30分前くらいから作り始め、食事の出来るにおいや、温か いものは温かいうちに食べることを大切に支援されている。 食事中、座る姿勢がくずれていた利用者を職員が直され、よ い姿勢で食事ができるよう支援されていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人のその日の状態に注意し、食べる量が少なくなると きは好みの物、飲み物を提供している。また水分量を記録し、 その人に合った水分量を摂取して頂き、また注意している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 必要に応じて行っている。人によっては毎食後行えていない 方もいる。必要に応じて訪問歯科の診療を受け、アドバイ スを頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			個々の排泄パターンを把握し、利用者のサインを見逃さないようにしている。随時、トイレ誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			体調が優れずベッドで休むことが多い利用者も、介護用の布パンツにパットを使用する等して、できるだけ心地よく過ごせるよう支援されている。又、上げ下ろしもご自分でしやすいことで排泄の自立にもつながってる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			個々の体調やタイミングに合わせた入浴を行っている。本人の意思を尊重し、楽しめる入浴を心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			利用者から入浴の希望はあまり出されないようで、現在は、職員が日々のスケジュール等も踏まえて、だいたい週に2～3回入浴できるよう決めて、利用者個々に声をかけ入浴を支援されている。利用者は職員が入浴に誘うと、断ることなく応じられるようだ。道後の「友輪荘」に出かけ、職員と一緒に温泉を楽しまれている。	さらに、利用者が主体の入浴について、支援のあり方を点検する機会にされてはどうだろうか。個々の入浴習慣や好み等を探り支援につなげたり、「お風呂に入ろうか」とご本人が思えるような支援等にも工夫されてみてはどうだろうか。管理者は「本人に聞いてみる」ことにも努めたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医療情報に一人一人の薬の内容について記録している。服薬の支援と症状の変化に気づけるよう観察を怠らないよう努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯機を回し、干し、畳みや食器拭き、料理の盛り付け、調理を通し、個人が活躍できる場を広げている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や外出等屋外に出る機会を多く持つよう努めている。職員の力だけではいけない場所に関しては家族と話し合うことで実現できるよう取り組んでいる。 (外部評価) 利用者と職員で一泊旅行に出かけることを続けておられ、中山町の花の森ホテルや東予国民休暇村等に出かけておられる。利用者は食事を楽しみにされており、めずらしいお料理等も楽しまれている。散歩途中にある野菜の直売所で野菜を買ったり、利用者の希望でバックや洋服の買い物等にも出かけておられる。「ともの家たより」では、外出に同行していただけるボランティアを募っておられる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望に合わせ所持して頂いている。またそのお金で買い物をすることもある。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 送られてきた手紙に返事を書き送られる方もいる。本人の希望に応じて自由にやり取りできるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日々の環境整備に努めている。季節の花を机に飾ったり、朝や日中は元気の出る曲、夕方から夜は安らぎの曲をかける等、時間帯に応じて工夫を凝らしている。	
			(外部評価) 利用者が、「自分達が生活しているという感覚」になれるよう、「自宅に近付ける」環境作りに取り組まれている。床は、拭き掃除をていねいにして清潔に保てるよう努めておられ、職員は上履きを履かず過ごしておられた。居間にはテレビを置かず、音楽や会話を楽しめるよう、職員が雰囲気作りをされている。テーブルには苔玉を飾り、調査訪問時にはソファで昼寝している利用者もみられた。利用者の中には、トイレの戸を開けたまま使用してしまう方もあるが、職員が声をかけて閉める等されたり、のれんを付けて視線等にも配慮されている。1、2階は、吹き抜けになっていて天井が高く、自然の光を大切に照明も調節しておられ、窓からは山や野の緑が見える。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 仲の良い方、話しやすいよう席の配置を工夫している。一人になれる落ち着いた居場所としてソファやデッキを活用している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご本人の家にあった家具、仏壇等馴染みのある物、ご本人の好きな物、写真等を居室に置いて、居心地の良さを工夫している。	
			(外部評価) 畳敷きの間に、ご自宅から持ち込まれたタンスや鏡台を置いておられる方もあり、又、机やいす、テレビを持って来られている方もいる。日記を付けることを支援している方は、以前は1行の内容だったものが、取り組みを重ねるごとに、3行ほど書かれるようになったようだ。仏壇の前に座布団やいすを置いておられ、利用者は手を合わせておられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下やトイレに手摺を配置し、ご自分の力で立位して頂いている。シルバーカーを使用し、自由に歩かれている方もいる。	